

氏名	資格登録番号	業績に対する寄与割合(%)	所属先(会社名、組織名等) 所属する土壤医の会(※入会している場合)
〇〇〇〇	M17054321	100%	株式会社△△△△△△ ●●●●土壤医の会

※取組み内容を登録者複数名で行った場合は、改行して連名にしてください。

■作物生育改善関係の取組み内容

※赤字は必須項目です。

1. テーマ名(必須): 土壤診断によるダイズの施肥改善

2. テーマのカテゴリー(必須):

下記①～⑥に当てはまるものを選んでください(複数選択可)。該当しないものは削除してください。

① 土壤診断(化学性、物理性、生物性)や生育診断による作物生育改善等が達成できた成果

3. 実施期間(必須): 2021年 11月 ～ 2022年 4月 (約5ヶ月)

4. 取組んだ目的や背景(必須):

農家からダイズの収量が低い圃場があるということを知ったので、〇〇補助事業を活用して土壤診断を実施した。

5. 実施場所や連携協力した機関等の名称(必須):

●●●●県A市

6. 取組み内容(必須)

ダイズ圃場の生育等状況について、対象農家に聞き取りした結果、水田転作ダイズで収量は地域平均よりかなり低く90kg/10aとのことであった。前作は水稻でダイズ作は無施肥栽培である。

ダイズの生育の劣る要因を明らかにするため、代表的圃場で土壤の化学分析を行った。



写真: ダイズ栽培圃場(分析対象圃場)

ダイズの莢数が少ない。やや雑草が多く雑草害の影響もみられる

表 ダイズ圃場の化学分析結果

CEC	リン酸 吸収係数	腐植	pH	EC	無機態 窒素	有効態 リン酸	交換性 マグネシウム	交換性 カリウム	交換性 カルシウム	塩基飽 和度	苦土/ 加里
17	1,200	3.6	5.4	0.06	0.7	6.0	39	10	249	65	9.4

注: CECはme/100g、ECはmS/cm、腐植と塩基飽和度は%、無機態窒素等はmg/100g

分析結果を基に下記の改善コメントを作成し、農家に提示した。

[改善コメント]

水田転作ダイズの収量が大幅低くなっている要因は、pHが5.4、有効態リン酸含量が6mg/100g、交換性カリウム含量が10mg/100gと低いことです。特にダイズではpHは6.0以下になると収量が低下してきます。また、ダイズでは有効態リン酸含量は20～60mg/100g、交換性カリウム含量は20～50mg/100gが必要です。特にリン酸は根粒菌の活性のために必要です。

今後、ダイズ栽培する場合はpH6.0を目標に石灰資材を施用していくとともに、特にリン酸資材と加里資材を中心に施肥されると良いと思います。

7. 主な成果（必須）

ダイズの代表的圃場で土壌診断した結果、収量が地域平均よりもかなり低い要因が明らかとなり、今後の施肥改善の方向が明確になった。なお、この結果は対象農家にも伝えている。

8. 成果の普及（任意）

9. 今後の予定（任意）
